かわらばん

NUMBER 112

川 崎 異 業 種 研 究 会

〇発行/川崎異業種研究会　広報部　　〇発行日/平成２０年６月１６日

総会報告

【総会内容】

平成２０年度通常総会が開催される。

平成２０年５月２２日（木）午後４時より、川崎商工会議所５階講堂において、会員２４名の出席により、通常総会が開催された。

議案は、第１号議案：平成１９年度事業報告並びに収支決算承認の件、第２号議案：平成２０年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件、第３号議案：役員承認の件、第４号議案：規則改正の件、第５号議案：その他、であった。

議事経過

菅原副会長の司会進行により本日の会員出席者数は２４名、本会規則第１２条（３）号により、総会出席者の過半数以上をもって議事が承認される旨の開会を宣した後、引き続き小林会長より開会の挨拶がなされた。

挨拶の後、菅原副会長より、規則第１２条（１）号により会長が本通常総会議長にあたる旨を述べ、小林会長が議長に選出された。

議長より、まず議事録署名人の選出方法について議場に諮れば、議長一任となり、太協商事（株）の原務氏を議事録署名人として選出し議事に入った。

第１号議案：平成１９度事業報告並びに収支決算承認の件

議長より、第１号議案を事務局より説明する旨を述べ、事務局より平成１９年度に実施した事業報告並びに収支決算について、総会資料に基づき説明した。

続いて、会計監査報告として、岩根・服部両監事を代表し、岩根監事より去る５月８日の監事会において、会計監査した結果、その内容は適正であった旨の報告がなされた。

以上の第１号議案について、議長から議場に諮れば、異議なく承認された。

第２号議案：平成２０年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

議長より、平成２０年度の活動指針が明示された事業計画（案）について説明の後、収支予算（案）については、事務局より説明する旨を述べ、事務局より総会資料に基づき説明した。

以上の第２号議案について、議長から議場に諮れば、異議なく承認された。

第３号議案：役員承認の件

議長より、第３号議案の役員選出について議場に諮れば、議長一任となり、議長より理事会で検討した結果、前年度役員を再任としたい旨の説明があり、その後役員（案）を配布した。

以上の第３号議案について、議長より議場に諮れば、異議なく承認された。

第４号議案：規則改正について

議長より、規則の改正について協議したい旨が述べられ、事務局より「正会員が年度途中で入会した場合は、会費を月割り計算して、前納する」と説明したところ、「賛助会員が年度途中で入会した場合の会費の扱い」について質問があった。

議長より、「賛助会員が年度途中で入会した場合の会費の扱い」は、「正会員が年度途中で入会した場合の会費の扱い」を準用するとの説明がなされ、「正会員・賛助会員の年度途中で入会した場合の会費の扱い」を議場に諮れば、異議なく承認された。

第５号議案：その他

議長より、上記議案以外の協議事項の有無を議場に諮ったところ、特に無く、小林会長を始め新執行部役員より挨拶がなされ、閉会となった。

なお、通常総会終了後、講演会を開催し、大海酒販（株）専務取締役の山下正博氏より、「大海酒販　こだわりの焼酎造りと経営方針　－本物志向と売らない営業方針－」とのテーマで、焼酎作りにかける情熱と、独自の経営方針などについて、ご講演いただいた。

講演会後、引き続き懇親会を開催し、大海酒販（株）専務取締役の山下正博氏より、たくさんの焼酎をいただき、一同、懇親交流を深めていた。

会長挨拶

小 林　健 一（有限会社ティアイテック･代表取締役）

昨年５月の２０周年記念式典で、田村社長より現職を受け継ぎ早くも１年が経過しました。当初の盛りだくさんの計画は月日の流れのようには進捗せず、逆に月日に追われるような思いであります。

前年の事業計画そのままで平成２０年度の事業を推進いたしますと、同様の中途な結果を招くことになりかねないことでも有り、平成２０年度の事業計画は重点事業を絞り、会員各位が参加してよかったと思える確実な成果を築くようにしたいと思っております。

２０年を経て、名実共に多様な業種の異業種交流会になり、当会そのもののあり方も多方面より検討してみる節目と考えております。結果的に当会の活性化を図ることが商工会議所の発展、ひいては川崎市全体の発展につながることになり、それこそが当川崎異業種研究会に課せられた一番の課題であると認識しております。ゆえに、平成２０年度は、川崎異業種研究会の活性化を最重点目標とし、全ての事業はその目標達成のための礎であるとの観点から推進事業を考えさせていただきました。

この一年間、商工会議所ご担当方々ならびに川崎異業種研究会会員方々、また各方面の関係者方々に一方ならぬご支援ご鞭撻を賜り、あらためまして感謝申し上げます。

今後も微力ではございますが、先輩方々の築かれた当会の良き伝統を継承し、更なる発展に全力を尽くす所存でございますので、皆様方のますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

■ 平成20年度事業方針

川崎異業種研究会の活性化

【事業内容】

１. 産学官連携の活性化

ホームページのリニューアル、リンク等を、和光大学の協力を得て推進し、川崎異業種研究会や川崎市の情報発信、会員相互の情報交換などを積極的に行います。また和光大学に対する協力として、実践経営講座（仮称）に

対する講師やパネリストの派遣、学生指導の協力などを行い、産学連携の実績につなげて行きます。ほかの市内メディアの参加も得て、将来は産学官を含めた連携事業に発展させたい。（各分科会分担）

２. 他団体との交流推進

他の異業種交流団体や、行政との交流を図り、相互の情報交換を通じ、共により良い川崎を目差す方向を確立します。今まで川崎異業種研究会は独自の展開を図ってきましたが、他団体の中にも交流推進の機運が高まってきており、協力することで相互の活性化と、事業の達成力を高めて行きます。（定例会）

３. 研修交流事業

川崎異業種研究会の伝統事業である県外視察会に加え、新たに市外研修交流会を定例会に組み込みたいと思います。これはあまり費用をかけずに、近隣で一泊程度の研修交流を行うものであり、会員相互のより一層の理解と連帯を深めるものと期待しております。また通常例会での研修交流は従来通りに継続し、会員交流と新会員募集の要としていきたいと考えております。（定例会）

平成２０年度　川崎異業種研究会　役員名簿

川異研役職名	氏　名	事業所名
会　長	小林　健一	(有)ティアイテック
副会長(定例会担当)	紀中　靖雄	賛友精機(株)
副会長	藤田　智	(株)ＬＲ小川会計
	菅原　智照	(株)菅原電機工業
理　事	飫冨　延久	和光大学
	飯島　英毅	(株)アクト
	原　務	太協商事(株)
	池田　庸一	(株)アイ・ビル・サービス
	野見山紘一	(株)工苑
	羽曽部松雄	シグマ技研(株)
	竹之内　豊	フジクス(株)
	清水　忠	(株)クレール
	金究　武正	山勝電子工業(株)
	木下　茂	(株)インフォメックス
	吉田　厚英	(株)日本メンブレン
監　事	服部　和生	ＮＰＯ経営支援２１
	岩根　弘明	たつみ工業(株)
顧　問	田村　隆	(株)タムラコーポレーション

分科会

川異研委員会役職名	氏　名	事業所名
経営情報委員会		
委員長	藤田　智	(株)ＬＲ小川会計
副委員長	野見山紘一	(株)工苑
商品開発委員会		
委員長	菅原　智照	(株)菅原電機工業
副委員長	大津　芳永	
広報部会　部会長	飯島　英毅	(株)アクト

［事務局］川崎商工会議所中小企業振興部

所　属	氏　名	担　当
多摩麻生支所	宇野　寿夫	定例会・理事会
中原支所	比金　康弘	総会・監事会
本　所	安藤　秀滋	渉外
高津宮前支所	佐野　大輔	広報部会 かわらばん編集

定例会報告

経営情報委員会

委員長　藤田　智

■　４月定例会
日　時:平成２０年４月１６日(水)午後６時３０分～８時３０分
場　所:高津市民館１１階第３会議室
参加者:９名
内　容:和光大学「産学連携実践論」検討会
趣旨説明:和光大学　経済経営学部　専任講師　小林　猛久　氏

和光大学では、今年度からキャリア研修の一環として、これまでの当会との連携実績を土台にして表題の講座を開設された。小林先生からは講座開設の主旨、学生の応募状況、授業運営方法試案等の説明をいただいた。出席者の皆さんから、内容の重みを加味して進めるようアドバイスがあった。起業で最も大切なことは、起業の目的、起業の思い入れである。手続論や、技術論は必要ではあるけれども、最重要とはいえない。これが現役社長の貴重なご意見であった。

当会では、小林先生の要請を受けて、4月23日第1回の授業に有志数名が参加することとなった。1年間の協力の窓口は経営情報委員会が担当するので、川異研会員各位のご協力をお願いする次第である。

商品開発委員会

委員長　菅原　智照

■　４月定例会
日　時:平成２０年４月９日(水)午後６時３０分～
場　所:ミューザ川崎シンフォニーホール会議室１
参加者:８名
内　容:
(１)平成２０年度の年間テーマについて
来年度のテーマ(案)は以下のようになった。(全７回)
①工場見学を２～３箇所行う。(候補として、シンワフロンテックの新工場が候補に挙がった。)
②ＨＰに掲示板を持たせる(“２ちゃんねる”のような感じする)。
・匿名で掲示板を利用し、相談や回答など様々な「カキコミ」を行い、お互いの利害が一致した段階で次のステップに進むような仕組みはできないか？
・ＨＰの容量は１０Ｇある。また、ＨＰにも掲示板はすでにあるが活用されていない。
③ものづくり元気企業の話を聞く。
④和光大学(実践経営学)への講義・見学。
・産学連携により、学生に会社を作らせることが目標。「ＦＭかわさき＋ＩＴ」の仕組みを作りたい模様。詳細は、今後詰めることにする。
⑤和光大学の実践経営学受講生へのアドバイスを行う。学生の疑問に答える。判定はビジネスオーディション。
⑥容器のリサイクル活動を行っている地域コミュニティー会社の話を聞く。
⑦１０月の和光大学学際への参加(別枠で考える)。
(２)昨年度の活動内容報告
①「川異研のＨＰをどうにかしたい」との思いから、収益を得て運営する方法について研究。
②スカイプの勉強会(使い方によっては、便利であるが、安全性に問題あり。)。
③バーコード(２次元、ＩＣタグ含む)を自社の業務効率化に活用するための勉強会。
(３)その他の意見
①テーマを決めず、流れで、行っていく方法もある。

②日程、年間予定を発信する必要があるのでは？
③経営情報委員会と同じ日程で、時間を分けて行ってはどうか？
④開発は難しい（過去のクスマル君の事例から言える）。委員会の名前を「商品研究委員会」に変更し、開発にこだわらない委員会にしてはどうか？
⑤「ものを作る」だけが開発ではない。サービスや方法論も「もの」として考えてもいいのでは？

経営情報委員会・商品開発委員会　５月合同定例会

委員長　藤田　智
委員長　菅原　智照

日　時：平成２０年５月１４日（水）午後６時３０分～８時４０分
場　所：ミューザ川崎シンフォニーホール会議室１
参加者：２０名（和光大学生：４名）
内　容：
（１）講演「最近の地域経済動向について」
講師：川崎信用金庫　常勤理事情報調査部長　大西　淳夫　氏
川崎信用金庫のアンケート調査結果に基づいて、地域経済の特徴を解説していただいた。
羅針盤的視点で、川崎市の現在と今後についてお話いただき、川崎市の経営者の景況感を中心にした、わかりやすい内容であった。
（２）川異研マスコット募集の審査
和光大学の学生向けに、川異研ＨＰのバナー及び川異研マスコットのデザインコンペを開催したところ、多数の応募があった。
商品開発委員会として、応募作品の発表と審査を行い、いくつかの作品に絞った。
それらの作品については、委員会の意見を添え、一部修正等をしていただき、通常総会において投票していただくことにした。

インドネシア大使館表敬訪問報告

副会長：紀 中　靖 雄

川崎異業種研究会は、国外視察会先として１０月１９日（日）～２３日（木）にインドネシアを訪問することになりました。
そこで、５月１６日（金）に小林会長とメンバーでインドネシア大使館を表敬訪問いたしました。
面談したトゥルス・ブディアント商務部長から、川崎異業種研究会のインドネシア訪問について大使館を代表して謝辞をいただき、訪問期間中に開催される「ＴＲＡＤＥ　ＥＸＰＯ」のレセプションパーティの招待を受けました。更に今回の視察会について最大限の支援を約束して頂きました。
最後に今回の件では、和光大学のバンバン先生に色々とご尽力を頂きまして事を皆様にご報告させて頂きます。